

子供と共に考える進路(キャリア)

千葉市教育委員会

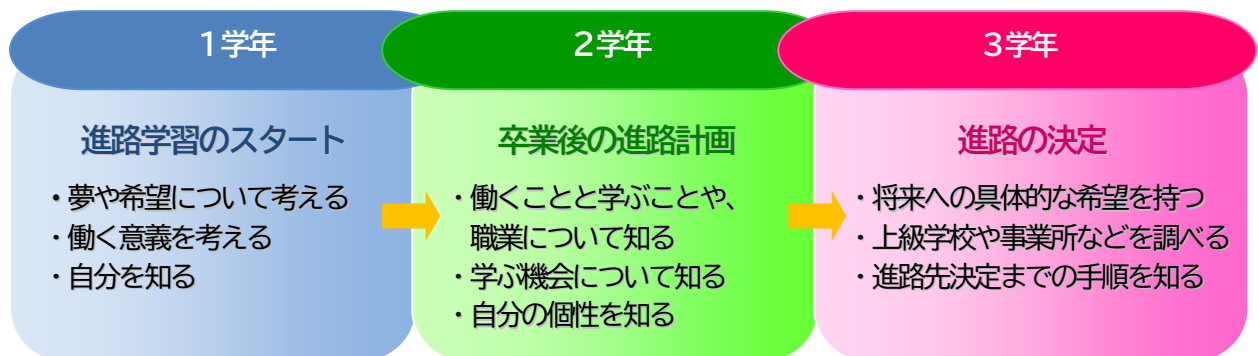
子供たちは中学生になると体や心が目に見えて成長し、頼もしくもなり、将来が楽しみになってきます。しかし、2年後の進路(キャリア)の選択・決定のことを考えると、どうすればよいかと不安になることもあるでしょう。

子供の進路(キャリア)について、「保護者としてどのように関わっていけばよいのか」という視点で、この資料を作成しました。

将来の夢や生き方を考える進路学習

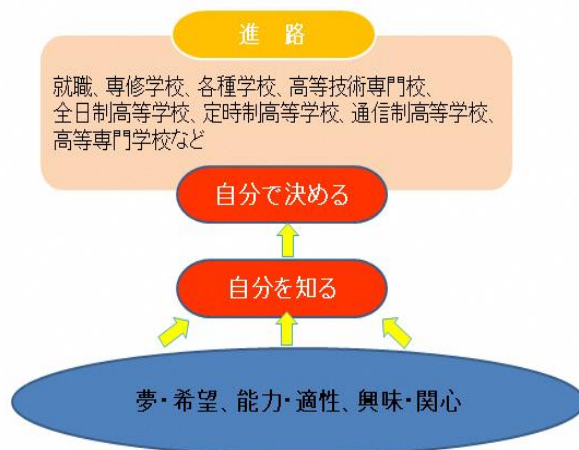
子供たちには、望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、社会的・職業的自立を目指し、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てることが必要であり、これは生涯にわたりあらゆる機会を通じて行う必要があります。

学校では、夢や希望の実現へ向けて、生徒が自らの生き方を考え、将来の進路設計ができるように進路の学習を進めています。



Q1

進路の選択はどのようにしたらよいのでしょうか？



A1 一般的に中学校卒業後の進路というと「高等学校への進学」、すなわち「進学」と考えられているところがあります。その結果、「入学できそうな学校選び」となる傾向がありました。このため、本人の興味・関心や特性等が軽視され、進路先での目標を見出せず、多くの中途退学者が出るなどの問題も起きています。本来、進路選択・進路決定は夢・希望、能力・適性(特性)、興味・関心等を総合的に判断してなされるべきものです。

現在そして将来にわたって、子供たちが、真の「生きる力」を身に付けるために、「入学できそうな学校」ではなく、将来の進路を見据えた主体的な進路選択、「行きたい学校・行きたい職場」の選択が大切となります。

Q2

今の中学生は、どのような将来の夢や希望を持っているのでしょうか？

A2 ある中学校の生徒が「将来就きたい職業」としてあげているものをみると、



スポーツ選手、会社員、理容師・美容師、看護師、公務員、先生（保育士・幼稚園・学校）、医師、芸能人、漫画家、イラストレーター、動物の訓練士、動物園などの飼育員、パティシエ、ITエンジニア、動画投稿者等

というような結果になりました。

今の子供たちは、夢や希望を持っていないという人もいますが、ほとんどの子供たちが、それぞれに「夢や希望」を持っていることがわかります。しかしながら、その理由としては、「好きだから」「何となく」「向いていそう」などをあげており、職業を目指す動機としては十分とは言えません。子供たちは、今の自分の個性の一端に対する理解やあこがれる職業の一部を知ることにより、夢や希望をふくらませていくものです。周囲の大人は、今後それが実現可能なものとなるように、あたたかく見守りながら励まし育てていくことが大切です。

進路については3年生になってから考えるという傾向が見られます。しかし、本来は今持っている夢や希望を出発点として、計画的に進路に関する学習を積み重ねていく必要があります。各中学校では、1年生から3年間を見通した計画的な進路学習が行われています。

Q3

子供の将来の夢や希望をかなえるために、保護者としてどのような配慮をすればよいのでしょうか？

A3 中学生は心理学の上では、青年期前期にあたり、心身の成長・変化は生涯で最も著しい時期になります。したがって、保護者には、子供の発達に応じて支援していく姿勢が必要となります。中学生になった子供たちの夢を育むためには、次のような点に心がけたいものです。

子供の特性を理解しましょう

大人の多くは、子供の将来を現実的に考えてしまいがちですが、子供は自己の可能性に夢を持っています。子供の特性を理解し、夢と現実のバランスに配慮しながら接し、励ましていくことで意欲が育ちます。

多くの「ものさし」をもちましょう

この時期は、個性が開花し始めます。とかく「学習成績が良い悪い」という「ものさし」で進路を判断しようとしがちですが、様々な「ものさし」をあてることにより、それぞれの個性にふさわしい進路が明らかになります。

保護者の体験を語りましょう

働くことの楽しさや喜び、世の中に貢献することの意義や生きがいなどについて、保護者の体験を語り、子供と一緒に考えましょう。将来社会人になるための自覚を持つことが、何よりも大切です。

Q4

中学生の段階で将来の進路について考えるのは、 早いのではないのでしょうか？

A4 将来の夢の実現に向かって、自分で人生設計を考えることに意義がある。

将来に夢を持つことは、主体的に将来のことを考え、その職業の特色やその職業に就くための上級学校を調べたり、自分自身で将来を考えたりすることにつながります。学校では、職場訪問や勤労体験の機会を設定し、働く人たちの姿や話から、働くことの意義や生きがいについて学び、自分の将来を考えられるようにしています。(実施時期や内容は、各中学校の計画によります。)千葉県では、令和2年4月から「キャリア・パスポート」を導入しています。

(文部科学省は、「キャリア・パスポート」とは、「小学校から高等学校を通じて、児童生徒にとっては、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなぐもの。教師にとっては、その記述をもとに対話的にかかわることによって、児童生徒の成長を促し、系統的な指導に資するもの」としています。)

ご家庭でも、子供との対話の中から将来の生き方や職業までを展望して、人生設計を立てさせることが大切となります。



Q5

子供の個性や長所を伸ばすために、 保護者としてどうしたらよいのでしょうか？

A5

1 子供に豊かな体験をさせる。

まずは、子供が幅広い活動に取り組むことを大いに勧める保護者でありたいということです。

中学校時代は、人間として成長するための大切な時期です。各教科の勉強はもちろんのこと、生徒会活動や学校行事、部活動にも積極的に参加して、豊かな人間性や気力・体力を育てることが大切です。

また、校外でも地域で取り組んでいる活動やボランティア活動、美化活動にも積極的に参加させることにより、豊かな心や広い視野を培うようにしたいものです。

2 子供が自信を持てるように働きかける。

さらに、子供が自分の個性や長所を伸ばしていけるよう、保護者としてあたたかく見守っていきましょう。

とかく、「自分なんて」と、自己を否定的に捉える傾向にあるこの時期は、その子なりの長所を認め、自信を持てるような関わりをしていくことが大切です。自信を持つことは、本来誰もが持っている個性や長所を伸ばす大きな原動力となります。



どのようになっていますか？

A6 前期・後期の2回に分けて実施されていた千葉県公立高等学校入学者選抜を、令和3年度入学者選抜から一本化しています。

以下に、令和7年度入学者選抜について掲載します。

令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜（令和7年4月入学生）について

(1) 一般入学者選抜（本検査）

ア 日程

検査日：令和7年2月18日（火）及び19日（水）

発表日：令和7年3月4日（火）

イ 検査内容

第1日 国語（50分）（聞き取り検査を含む）・数学（50分）・英語（60分）（リスニングテストを含む）

第2日 理科（50分）・社会（50分）・各高等学校が定める検査

※各高等学校が定める検査については、【面接、集団討論、自己表現、作文、小論文、適性検査、学校独自問題、その他の検査】のうちから一つ以上を実施する。

※定時制の課程の学力検査は5教科又は3教科で実施します。（教科数は各高等学校が定める。）

ウ 選抜方法

「調査書の評定の全学年の合計値及びその他の記載事項」、「学力検査の成績」、「各高等学校において実施した検査の結果」等を資料とし、各高等学校が総合的に判定して入学者の選抜を行う。

(2) 特別入学者選抜（本検査）

・海外帰国生徒の特別入学者選抜

検査日：令和7年2月18日（火）

検査内容：国語（50分）（聞き取り検査を含む）・数学（50分）・英語（60分）（リスニングテストを含む）

・外国人の特別入学者選抜、中国等帰国生徒の特別入学者選抜、成人の特別入学者選抜

検査日：令和7年2月18日（火）

検査内容：面接及び作文（外国人の特別入学者選抜は、いずれも英語又は日本語による）

・連携型高等学校の特別入学者選抜

検査日：一般入学者選抜と同じ日程を基本として実施する。

検査内容：連携型高等学校が定める。

※特別入学者選抜それぞれの発表日は令和7年3月4日（火）です。

(3) 地域連携アクティブスクールの入学者選抜（本検査）、通信制の課程の一期入学者選抜（本検査）

検査日：令和7年2月18日（火）及び19日（水）

通信制の課程の一期入学者選抜は2月18日（火）のみ

検査内容：地域連携アクティブスクールの入学者選抜は、各高等学校が定める。

通信制の課程の一期入学者選抜は、現行の内容（面接、作文）に準じて実施する。

発表日：令和7年3月4日（火）

※追検査について

対象者：やむを得ない理由により本検査を全部又は一部受検できなかった者が対象となる。

検査日：令和7年2月27日（木）

検査内容：本検査に準じて実施する。

検査場所：志願した高等学校で実施する。

発表日：令和7年3月4日（火）（本検査の結果と併せて発表）

○詳細は令和7年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項で確認してください。

○生徒配付資料○

本市では、市内中学校の先生方が作成した以下の資料を用いて進路学習を進めています。ご家庭でお子さんと進路の話を進めるときに大いに役立ちます。ご活用ください。

■ 1・2年生用 キャリア教育ノート 「わたしの夢」

自分のことや生き方を考えるためのワークシートや進路学習に必要な資料を掲載。

■ 3年生用 進路選択の手引 「ハロー マイ フューチャー」

進路学習の考えをまとめる学習ノートと進路先決定までの手順や通学区域、上級学校一覧などの資料を掲載。